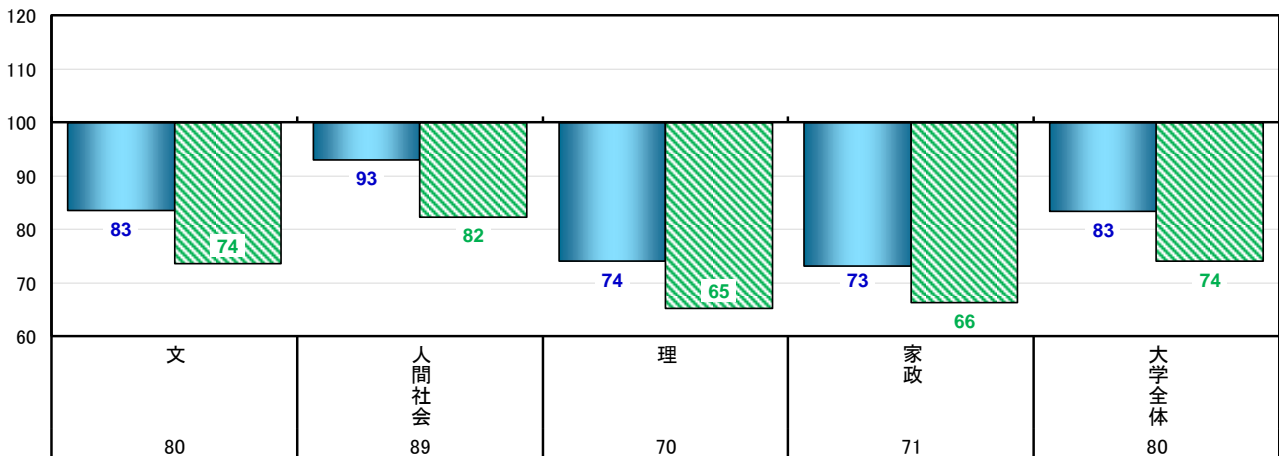


2021 年度入試状況分析【私立大】

日本女子大：大学全体では2年連続減少 全ての学部で減少 一般：-1,181人 共テ：-1,193人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



入試変更点

キャンパス移転：人間社会…全学年とも目白キャンパスへ移転
 選抜方法：理、家政…〈一般・3教科型〉新規実施
 理…〈一般・英語外部試験利用型〉1科目判定→2科目判定
 家政(家政経済、食物、児童、被服、住居)…〈一般・英語外部試験利用型〉1科目判定→2科目判定
 募集人員：文(英文)…〈共テ・前期〉18人→10人、〈共テ・後期〉8人→5人
 (日本文)…〈共テ・前期〉15人→10人
 (史学)…〈共テ・前期〉14人→13人、〈共テ・後期〉8人→7人
 人間社会(現代社会)…〈共テ・前期〉10人→5人、〈共テ・後期〉3人→2人
 (社会福祉)…〈共テ・前期〉11人→4人、〈共テ・後期〉4人→3人
 (心理)…〈共テ・前期〉8人→3人
 (文化)…〈共テ・前期〉10人→5人、〈共テ・後期〉5人→3人
 理(数物科)…〈共テ・前期〉15人→14人、〈共テ・後期〉5人→4人
 入試科目：人間社会…〈一般〉、〈一般・英語外部試験利用型〉国+(歴 or 数) ※数：数 IA+数 II
 →国+(歴 or 数) ※数：数 IA+数 IIB
 理(数物科学)…〈一般・英語外部試験利用型〉数→数+理
 家政(住居/居住環境)…〈一般〉外+(国 or 数)→外+(国 or 数 or 理)
 (住居/居住環境)…〈一般・英語外部試験利用型〉(国 or 数)→(国 or 数 or 理)→2
 (住居/建築デザイン)…〈一般〉数+外→外+(数 or 理)
 (住居/建築デザイン)…〈一般・英語学部試験利用型〉数→(国 or 数 or 理)→2

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、2,374人(80)の大幅減少で2年連続減少。志願者数は1万人を下回った。学部別では、理(70)、家政(71)、文(80)の3学部が大幅減少、人間社会(89)が減少。方式別では、共通テスト利用方式(74)が2年連続大幅減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数72)も減少し、志願倍率は19.7倍→20.2倍へアップ。一般方式(83)も大幅減少で3年ぶり減少。

〈一般方式〉

- 文(83)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(日本文)(79)が大幅減少で2年連続減少、(史学)(83)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、英文(89)が2年連続増加の反動で減少。
- 人間社会(93)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(現代社会)(110)は前年度大幅減少の反動で増加。(教育)(76)は2年連続増加の反動で大幅減少、(文化)(89)、(心理)(90)、(社会福祉)(92)は2年連続減少。
- 理(74)は、大幅減少、新規実施方式を除くと(56)で40%以上減少。前年度大幅増加の反動に加え、〈英語外部試験利用型〉(36)での判定科目数や入試科目の増加が影響した。学科別では、2学科いずれも大幅減少。
- 家政(73)は、大幅減少、新規実施方式を除くと(60)で40%減少。前年度増加の反動や、〈英語外部試験利用型〉(20)での判定科目数や入試科目増加が影響した。学科別では、特に(家政経済)(46)が、前年度大幅増加の反動で半減以下の大幅減少。

〈共通テスト利用方式〉

- 文(74)は、2年連続大幅減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数73)も大幅減少で、志願倍率は18.7倍→18.9倍とわずかにアップ。学科別では、3学科全てで大幅減少。
- 人間社会(82)は、大幅減少で2年連続減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数61)も大幅減少で、志願倍率は25.2倍→33.9倍へとアップ。学科別では、(現代社会)(68)、(心理)(68)の大幅減少が目立った。
- 理(65)は、大幅減少で2年ぶりに減少。学科別では、(数物科)(60)は2年連続大幅減少、(物質生物学)(70)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 家政(66)は、2年連続大幅減少。学科別では、(家政経済)(45)、(被服)(49)は前年度大幅増加の反動で半減以下の大幅減少。(住居)(73)は大幅減少で3年連続減少、(児童)(81)は2年連続減少、(食物)(86)は3年連続減少。